

## 報告事項3. 2016年度事業計画

### ●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

#### ①研究会・学術講演会の開催事業

##### 1. 第81回日本循環器学会学術集会(JCS2017)

(1) 会期：2017年3月17日(金)～19日(日)

会長：山岸 正和

(金沢大学臓器機能制御学・  
循環器内科)

会場：石川県立音楽堂

メインテーマ：

次世代へつなぐ循環器病学

(Cardiovascular Medicine for Next  
Generation)

・一般演題

(口述, ポスター,

Featured Research Session)

・美甘レクチャー

・真下記念講演

・特別講演

・会長講演

・プレナリーセッション

・シンポジウム

・会長特別企画

・ジョイントシンポジウム

(AHA, ACC, ESC, CSC, KSC)

・ラウンドテーブルディスカッション

・トピック

・コントロバーシー

・ミート・ザ・エキスパート

・モーニングレクチャー

・Late Breaking Clinical Trials

・Late Breaking Cohort Studies

・Excellent Case Presentation by Young  
Careers in English (ECP)

・第45回循環器教育セッション

・日本心臓財団佐藤賞記念講演

・審査講演会

YIA Clinical research部門審査講演

YIA Basic research部門審査講演

国際留学生YIA審査講演

第7回コメディカル賞審査講演会

・ガイドライン解説

・第13回心臓移植セミナー

・保険医療セミナー

・第7回海外留学生セミナー & 留学支援助成  
報告会

・アジアセッション

・医療倫理に関する講演会

・医療安全に関する講演会

・第16回禁煙推進セミナー

・日本循環器学会蘇生科学シンポジウム

・第15回心肺蘇生法市民公開講座

・第7回男女共同参画委員会セッション

・Circulation Journal Award Session

・チーム医療セッション

・市民公開講座

・サテライトセミナー(ランチョンセミナー,  
ファイアサイドセミナー)：会期中3日間

・機器・書籍展示

(2) プレレジストレーション

学術集会参加者向けに、参加登録、教育セッ  
ション、ランチョンセミナー・ファイアサイ  
ドセミナーのプレレジストレーションを行  
う。

(3) 印刷物・製作物

第81回学術集会関連の印刷物・制作物として、  
抄録CD、プログラム、電子抄録アプリ、教  
育セッションテキスト、企業展示ガイドブ  
ック、ピンバッジ、英文パンフレットを製作す  
る。

(4) My Abstracts

抄録CDに掲載されている演題・チーム医療  
セッション・共催セミナー抄録を検索し、必  
要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄  
録集や日程表が作成できるサービスをWEB  
版とアプリ版で行う。

(5) トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭著  
者にトラベルグラントを支給する。支給金額  
は、アジア近隣諸国は5万円、その他の国は  
10万円とする。

(6) 発表データプレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイ  
トで事前アップロードするための「発表デー  
タプレエントリーシステム」を公開する。

(7) 託児室

学術集会会期中に参加者に対して英語対応可  
能な託児室を設置する。

(8) 日本循環器学会ブースの出展

第81回学術集会の期間中、展示会場にて学会  
活動紹介のための日本循環器学会ブースを出  
展する。

(9) 学会賞

以下の賞に関して、受賞者を決定する。

第42回日本心臓財団佐藤賞

第34回YIA Clinical research部門審査講演

第34回YIA Basic research部門審査講演

第15回国際留学生Young Investigator's  
Award

第25回CPIS賞

第12回心臓血管外科賞

第12回小児循環器賞

第11回循環器再生医科学賞  
第10回女性研究者奨励賞  
第6回循環器臨床研究奨励賞  
第4回循環器イメージング賞  
第7回コメディカル賞  
Circulation Journal Awards for Volume  
80, 2016  
Circulation Journal Asian Award for  
Volume 80, 2016  
日本心臓財団・日本循環器学会2016年「心  
臓」賞

## 2. 日本循環器学会地方会

- (1) 第115回北海道地方会  
会期：2016年6月25日(土)  
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)  
会長：筒井 裕之(北海道大学循環病態内科学分野)
- (2) 第116回北海道地方会  
会期：2016年11月26日(土)  
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)  
会長：紙谷 寛之(旭川医科大学心臓大血管外科  
学分野)
- (3) 第162回東北地方会  
会期：2016年6月4日(土)  
会場：アイーナ(いわて県民情報交流センター)  
(盛岡市)  
会長：富田 泰史(弘前大学循環呼吸腎臓内科学講座)
- (4) 第163回東北地方会  
会期：2016年12月3日(土)  
会場：仙台国際センター(仙台市)  
会長：下川 宏明(東北大学循環器内科学)
- (5) 第240回関東甲信越地方会  
会期：2016年6月4日(土)  
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)  
会長：池ノ内 浩(日本赤十字社医療センター  
循環器内科)
- (6) 第241回関東甲信越地方会  
会期：2016年9月17日(土)  
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)  
会長：阿古 潤哉(北里大学循環器内科)
- (7) 第242回関東甲信越地方会  
会期：2016年12月3日(土)  
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)  
会長：高橋 政夫(平塚共済病院 心臓血管外科)
- (8) 第243回関東甲信越地方会  
会期：2017年2月4日(土)  
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)  
会長：野上 昭彦(筑波大学循環器内科)
- (9) 第147回東海地方会  
会期：2016年6月11日(土)  
会場：アクトシティ浜松コンgresセンター  
(浜松市)  
会長：林 秀晴(浜松医科大学第三内科)
- (10) 第132回北陸地方会  
会期：2016年6月26日(日)  
会場：金沢医科大学病院(河北群内灘町)  
会長：北山 道彦(金沢医科大学心臓カテーテル科)
- (11) 第148回東海・第133回北陸合同地方会  
会期：2016年11月5日(土)～6日(日)  
会場：石川県地場産業振興センター(金沢市)  
会長：茅田 浩(福井大学循環器内科)
- (12) 第121回近畿地方会  
会期：2016年7月16日(土)  
会場：国立京都国際会館(京都市)  
会長：夜久 均(京都府立医科大学心臓血管・  
小児心臓血管外科学部門)
- (13) 第122回近畿地方会  
会期：2016年11月26日(土)  
会場：ナレッジキャピタル  
コングレコンベンションセンター  
(大阪市)  
会長：塩島 一郎(関西医科大学内科学第二講座)
- (14) 第109回中国地方会  
会期：2016年12月3日(土)  
会場：川崎医療福祉大学(倉敷市)  
会長：上村 史朗(川崎医科大学循環器内科学)
- (15) 第109回四国地方会  
会期：2016年12月3日(土)  
会場：松山市総合コミュニティセンター  
(松山市)  
会長：岩田 猛(愛媛医療センター循環器内科)
- (16) 第108回中国・四国合同地方会  
会期：2016年6月10日(金)～11日(土)  
会場：くにびきメッセ(松江市)  
会長：中澤 芳夫(鳥根県済生会江津総合病院)
- (17) 第120回九州地方会  
会期：2016年6月25日(土)  
会場：ホルトホール大分(大分市)  
会長：小野 克重(大分大学病態生理学講座)
- (18) 第121回九州地方会  
会期：2016年12月3日(土)  
会場：鹿児島市民文化ホール(鹿児島市)  
会長：井本 浩(鹿児島大学心臓血管・消化外科学)

## ②学会学術誌、その他出版物の刊行事業

### 1. Circulation Journal刊行

英文誌Circulation Journal Vol.80 No.1～No.12を発行し、J-STAGEオンラインジャーナルとiPadにも掲載する。掲載内容は一般投稿論文に加え、依頼論文(Review Articles, Editorials, Guidelines)等である。Circulation Journalのプロモーションの一環として海外からの投稿を増やすため、また、英語版ホームページをより充実させる目的で、新たにMedical Newsの項目を設け、Circulation Journalの情報発信力の向上を目指す。Circulation Journal Award, Circulation Journal Asian Award, また、

Best Reviewers of the Year 20名を選考する。

## 2. 国際編集会議

AHA開催期間中に、Associate Editor, International Associate Editor, International Advisory Boardのメンバーを招待し、国際編集会議を開催する。

## 3. 会告刊行

会告2016 No.1～No.4を発行する。

## 4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」に、開催された地方会のデータを登録する。

## 5. 循環器学用語の検討

循環器学用語集の改定について、会員及び関係学会からの意見を踏まえて検討する。また、WHO・厚生労働省から依頼を受けているICD-11作成作業について委員派遣を行う。

## 6. 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS News Letter」を配信する。

## ③学術研究助成事業

### 1. 循環器疾患診療実態調査

全国の循環器科または心臓外科を標榜する約2,600施設のうち、日本循環器学会指定循環器専門医研修施設・研修関連施設を中心に協力依頼を行い、循環器疾患診療の実態についてWeb上で調査(対象期間：2015年1月～12月の1年間)を行う。

### 2. DPCデータを用いた心疾患における医療の質評価事業

循環器疾患診療実態調査において収集したDPCデータにより、各病院の医療費増の縮小・最適治療やガイドラインへの反映を目的とし、医療の質評価事業を行う。本調査結果は申請により会員が使用できる整備も併せて進める。

## 3. 学術研究班

- (1) 血管炎症候群の診療ガイドライン(改訂版)  
(班長：磯部 光章)
- (2) 成人先天性心疾患診療ガイドライン(改訂版)  
(班長：市田 路子)
- (3) 感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン(改訂版)  
(班長：中谷 敏)
- (4) 肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン(改訂版)  
(班長：伊藤 正明)
- (5) 慢性及び急性心不全治療ガイドライン(改訂版)

(班長：筒井 裕之)

- (6) 心疾患患者の妊娠・出産の適応、管理に関するガイドライン(改訂版)  
(班長：赤木 禎治)
- (7) 肺高血圧症治療ガイドライン(改訂版)  
(班長：福田 恵一)
- (8) QT延長症候群(先天性・二次性)とBrugada症候群の診療に関するガイドライン(改訂版)  
(班長：青沼 和隆)

## 4. ガイドライン作成

2014-2015年度活動の新規3件、オリジナル版とダイジェスト版を作成し、ホームページ上に公開する。また、第81回学術集會時に「ガイドライン解説」セッションを開催する。

## 5. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存ガイドラインの内、2件を英訳化してホームページに掲載する。

## 6. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し、あるいは医師主導型臨床試験を支援する。

- (1) 急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査(J-MINUET：主査 石原 正治)

## 7. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会が主導して行う心原性ショックに関するレジストリで登録されたデータの検証を行い、心原性ショックの転帰を改善させる対策を探求し、解析結果の論文化を行う。

## 8. 留学支援助成

学術集會の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に1件の留学支援助成を行う。

## 9. 国内交流に関する事業

他学会からの要請に応じて、随時、本会としての受入れ対応を検討する。

## ④国際交流事業

- (1) 海外学会へのブース出展として、ESC・AHA・OCSへブース出展を行う。
- (2) 海外学会と共同シンポジウムを開催する。
- (3) 第81回学術集會にて国際名誉会員の表彰を行う。

## ⑤「循環器病克服5カ年計画」事業

「5年間で脳卒中・心血管病による死亡率の5%減少および健康寿命の延伸」を目標として、脳卒中・

心不全・血管病を重要疾病と定め、「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民啓発の促進」「基礎研究の強化」を目標達成のための戦略として、今後5年間の日本と本会の計画を立てる。

## ●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

### ①循環器専門医事業

#### 1. 専門医制度事業

- (1) 第27回循環器専門医資格認定試験を実施する。  
筆記試験日：2016年8月21日(日)  
東京会場：東京国際フォーラム(千代田区)  
大阪会場：梅田スカイビル(大阪市)
- (2) 循環器専門医資格の更新審査を行う。
- (3) 循環器専門医研修・研修関連施設の指定・更新審査を行う。
- (4) 『循環器専門医』は2冊、Vol.24No.2とVol.25 No.1を発刊予定。
- (5) 学会認定専門医から日本専門医機構認定専門医に変更になることに伴い専門医制度の検討・構築を行う。

### ②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

#### 1. 第12回循環器専門医を志す研修医のための卒業セミナーの開催

主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー・グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催する。

#### 2. 教育研修用DVDの製作・販売

第80回学術集会で開催された教育セッションをより多くの医師に視聴研修していただくことを目的に、教育セッションの内容を収録した「第44回循環器教育セッションDVD」の製作・販売を行う。

#### 3. 教育研修用e-ラーニングシステムの構築

会員の知識、技能の向上を目的に、教育研修e-ラーニングのコンテンツの充実を行う。

#### 4. 第2回臨床研究デザインと統計解析合宿の開催

若手から中堅の医師を対象に、臨床疫学及び臨床統計学のスキルアップを目的とした研修合宿を行う。

#### 5. 学術集会DVD

第80回学術集会の講演内容を会期後に視聴研修していただくことを目的に、講演内容を収録したDVDの製作・販売を行う。

#### 6. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催する。

- (1) AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース
- (2) AHA ACLSプロバイダーコース
- (3) AHA ACLS EPプロバイダーコース
- (4) AHAハートセイバーCPR AEDコース

また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催する。

- (1) AHAコアインストラクターコース
- (2) AHA BLSインストラクターコース
- (3) AHA ACLSインストラクターコース
- (4) AHAハートセイバーインストラクターコース
- (5) AHA ACLS EP インストラクターコース

2015年度に引き続き、ガイドライン2015のロールアウトを各地で実施した。

### 7. コメディカルセミナーの開催

東京・大阪にて循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を目的として、コメディカルセミナーを開催する。プログラムには、企業共催講演を含む。

### 8. 男女共同参画に関する事業

男女共同参画の現状を把握し、今後検討すべき問題を明らかにして提言を行うため、男女共同参画委員会セッションおよびセミナーを開催する。

## ●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

### ①心臓移植等にかかる事業

#### 1. 心臓移植に関する事業

- (1) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。
- (2) 心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討及び、VAD植込事後検証を行う。
- (3) 適応評価システム変更に対応するため、申請システムのメンテナンスを行う。
- (4) 心臓移植実施施設間の問題点、今後のあり方について協議を行う。
- (5) 学術集會会期中に医師及びコメディカル向けに移植医療の現状報告、将来への展望などについて心臓移植セミナーを開催する。
- (6) 心臓移植について一般市民に理解を深めてもらうため市民公開講座を開催する。
- (7) 日本の心臓移植の状況を世界に発信していくためCirculation Journalにアニュアルレポートを投稿する。
- (8) 心臓移植実施施設(成人・小児)の認定審査を関連の学会・研究会と行う。

### ②社会への広報・啓発事業

#### 1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象とし

たセミナーを月次で開催する。

## 2. 学術集会プレスカンファレンス

第81回学術集会の企画内容をプレス向けに説明する会合として、プレスカンファレンスを開催する。

## 3. 市民公開講座

第81回学術集会の会期中に、市民公開講座(会長企画)を開催する。

## 4. 心肺蘇生法市民公開講座の開催

第81回学術集会において第15回心肺蘇生法市民公開講座を開催する。

## 5. 予防市民公開講座の開催

一般市民を対象とした心疾患予防のための市民公開講座を開催する。

## 6. 禁煙ポスターの増刷

禁煙指導のための教材として無料配布している禁煙ポスターの増刷を行う。

## 7. 禁煙ガイドブックの制作・販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイド Passport to Stop Smoking」の制作・販売を行う。

## 8. 禁煙啓発キャラクター「すわん君」を使用した禁煙啓発活動への取組み

本会の禁煙啓発キャラクター「すわん君」のグッズを制作し、学術集会や市民公開講座会場で配布し禁煙啓発を行う。また、twitterやLINEなどのSNSを活用し、多くの市民の方々への禁煙啓発を呼びかける。

## 9. 学会ホームページの運営

会員・一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載する。また、スマートフォンやタブレットに対応したページ作成をアクセス数の多いページ中心に進める。

## 10. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、関連学会と協力して主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行う。

## 11. 心肺蘇生法に関する事業

ファミリー&フレンズコース(市民向け講習会)を開催する。

## 12. 循環器疾患対策に関する基本法成立に向けた対応

循環器疾患対策を行い国民の健康寿命を延伸させるため、基本法の成立を求める活動を行う。

## ●その他の法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 新専門医制度に伴う対応

新専門医制度に対応した新会員管理システムおよび症例データベースの構築を推進し、会員向けサービスの向上を行う。

### 2. 利益相反委員会

「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」の普及、実施を行う。臨床研究の利益相反に関する共通指針に基づく本会細則の普及・実施を促し、会員の意識向上を目指す。

### 3. 医療事故調査制度

医療事故調査制度に関する医療機関および医療事故調査・支援センターからの支援依頼に対応する。

### 4. 勤務医師賠償責任保険

団体保険の案内を会員に行う。